

平成23年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・いもち病（No.1）

平成23年6月23日
鳥取県病害虫防除所

1 水稲いもち病発生予測システム（ブラスタム）の判定結果等

- (1) ブラスタムによる葉いもちの感染好適条件又は準感染好適条件は、6月13日に広域で出現したが、その後はほとんどみられていない（表1）。
- (2) 6月17日発表の気象1か月予報によると、平年に比べ曇りや雨の日が少ないと予想されている。

表1 ブラスタムによる感染好適日の出現状況

日付	鳥取	岩井	青谷	智頭	倉吉	米子	下市	境	茶屋
6/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 感染好適日、準感染好適日

2 防除上注意すべき事項

- (1) 山間部などのいもち病の常発地では、粒剤の育苗箱施用を行っていても十分な効果が得られない場合があるため、ほ場の見回りを徹底し、早期発見に努める。
- (2) 本田において上位葉に急性型病斑がみられる場合には、粉剤、水和剤、治療効果を有する本田粒剤などを散布し、その後は病勢に応じて追加防除を行う。
- (3) 補植用置き苗は、本田へのいもち病の伝染源となるので、早急に処分する。